

グループワークで出た課題

グループワークで出た解決策

行政関係の参加者の
意見・アイデア

NPO関係の参加者の
意見・アイデア

講師による意
見・アイデア

コミュニティの活性化

- ・市とNPOでコミュニティに話しに行く。
- ・円卓会議のようなだれでも参加できる場で情報共有。(コミュニティは閉鎖的なこともあるので)
- ・課題が見えるようにすることでコミュニティが団結する。(危機は共有意識につながる) 危機がないのはいいことだが・・・

課題解決の年次計画を作っては？

地縁組織の強化も必要
(町内会への加入率の促進など)

地元の有力者を巻き込む

地域の人々自身が、自分たちのまちの良いところ、弱いところを再確認できる

現状を説明し、自発的にうごくきっかけづくり

地域で課題解決のための地域まちづくり計画を地域でつくる

地域活動の“楽しさ”“おもしろさ”を実際に体験している人のコメントを広報誌等にのせる

楽しく集まれる場をつくる。最初から課題を話し合うというのではなく、お宝さがしとか・・・

お祭りや収穫祭など、その地域の伝統行事など、古くに行なわれていたが、今は廃止になってる。芸能・文化活動をほりおこしてみても

年齢、性別問わず、まず相手の困り事に手を貸す。いい意味で相手に借りを作り、助けてもらえるような土台作りをする。まず、自分から提供する。押しつけない。

話しに行く前にデータを確認してからNPOを活かして議員さんの活用も

「地域の課題は自分たちで解決する」という意識を持ってもらうためには

- ・有志でサークルをつくり、周りの意識が変わる。
- ・行政の無力さを知らせる。
- ・好事例を紹介する。
- ・拠点や成功体験を提供する

行政ができることと、できないことを明確にしては？
Ex.大地震発生時の初動体制etc.

行政が先回りして、あまりに「地域の課題→困ってるでしょ」としてしまうと、自分たちの課題にはなりにくいのではないか

個人的には若者、女性を巻き込んでいくと強いと思います。
→パワーがあるので

先進地紹介

行政の無力さではなく、役割の違いを説明しては

自分たちが好きでやっていることが誰かの困り事を解決できるかも、というワークショップをやってみては

できているところを誉める
例：自慢大会

運動したことで地域が変化した事例を知ってもらう

現場、現物、現象の3現主義で足を運び、理解してもらう

いいことをやっている組織を、とにかくほめる！

基本的事項であるが、具体的視点で議論すべきでは

自分たちでもできるんだという事例紹介

飲み会をセットにした勉強会の開催

住民組織の核となる人物を中心に話し合いの場(飲み会など)本音でしゃべれる会を設定する。

地域の困りごと課題提出の場をつくり共有する

地域参画人材育成の体系化

- ・無作為抽出の市民1500人にワールドカフェでまちづくりについての意見を言うことに参加してもらう。
- ・市の担当者が変わることで、これまでの積み重ねが振り出しになることがある。
- ・情報や問題を共有する。

ワールドカフェを回す。民間のコーディネータを見つけることも必要

次世代の人材を育成するのにも忘れずに

体系化することで何がしたいのですか

話し合われたことをコアスタッフで発信していくことで更に色々な人の関心を高めることも必要

大人の学校

人材育成のための資金をどうするのか、育てた人材が活動するための社会環境を整える(お金)必要があるのでは

行政担当者の“人事”をふまえた情報共有のあり方を、行政の責任として考え直してもらおう！それを市民がうったえかける！

参加できる時間を企業につくってもらわないと、20～50代の社会人には難しいですね。地域活動休日なんてどうでしょうか。

行政とNPOをつなぐ支援センターが必要(公設民営)

人材育成を体系化する意味は？

ターゲットはしぼったほうがいいのでは

協働推進の方法

・担当職員の悩みを解決してくれる先生の存在。

協働っていいよ！
大事だよ！
といつづける
行政職員や担当
課の存在が大切
だと思います

独居を支える仕組み

・見守らずして見守る！！
伊賀流福祉はこれだ！！

その人のまわり
にどれだけかか
わる人がいるか、
見えるようにする

健康第一+コミュ
ニティの定期的
な集まり

・宅配便
・ゴミ収集
を地域の住民がし
て、声かけ運動を
してるNPOが岡山
県にあります！

まず外に出て交
流する仕組みを
作ってあげる。

小さな不便から
みつけてあげる

元気なうちから、地
域に関わることが
できる仕組みを。将来
のため、つながりを
協力も必要かと。

外に出て人と会
える場づくり

見守らずして見
守るとは？

今日の講習は、自
立する、積極的に
●●●どうするか
補助金に頼らない

その方に地域の方
のお手伝いをして
いただいたりして
ふれあいを進めて
いく

1)NPO活動団体の人口を増やしたい。
 2)NPOの財政的安定対策について
 3)地域でコミュニティ組織を立ち上げた場合の運営の為の財政的支援

1) 広報の検討
 ・機関誌による広報
 ・社協との協働によるPR
 2) 補助金による対応

NPO活動参加する人を増やすには若い人達(小学校~)の教育現場での教育が必要だと思います。

行政委託によるのではなくて自主事業もやるべき

今ある団体の活動の質を上げる

・自主財源、補助金、キブ関連などのスミ分けと当面の財政規模
 ↓
 この辺をざっくりでも形に残して、少しずつ解決

行政は細かいことを言わずに、NPOの活動を大きな視点で見守ってほしい。(コンプライアンスを遵守するのは当然として)

NPOのやる気を削ぐような発言をしない。うまく乗せてあげてほしいです。

社協との連携も忘れずに！

NPO団体の人口をどのように増やすのか

大人の学校

活動したい人は山ほどいる。もっと地域にとけこんで！！

補助金、助成金だけでなく団体の“自立”を。

(1)何のために人数を増やすのか、その目的を明確にしたら、解決策も見い出せるのでは

自らお金を得るとりくみが必要。

企業との協働

2)企業をスポンサーにつける

広報
 HP(自治体)
 フェイスブックもいかが？

まずはNPO団体事務所所在地周辺の方々から共感を得ましょう。

3)是非、手弁当で

ひと口にNPO活動と言っても、そもそも収益性を期待できにくいものと(活動)、うまくやれば大きく収益が上がるものがあるように感じる

3)事務局機能の充実
 ↑
 支援する

会員への専門家(税理士)(企業経営者)の取り込み

課題解決のCBを考える

ソーシャルネットワークの活用

2)クラウドファンディング等、直接NPO活動資金を寄付でつくる仕組みの活用

市が設定したテーマについてNPOからの企業提案を募集→委託

当事者意識の必要ない総務事務を手伝ってもらいましょう

企業は社会貢献事業として寄付金や助成金を創出する

・お金の集め方講座
 ・マネジメント、マーケティング講座

団体人口を増やすだけで良い？より動ける団体増を！

活動人口増より活動成果増の方が優先されるべきでは？(ダメな団体に入るより、まともに働く個人では？)

地域円卓会議を始めるには？

無作為抽出の市民に参加依頼通知を送る。

全市、全県で始める前に、地区自治会連合や小学校区などで試験的にやってみるといいのかも

参加者の集めが重要いろいろな視点からの検討が必要

とにかく実行あるのみ！

子供たちを交えた(学校の総合学習の時間とか利用して)会議をしてみるのはどうですか。あとPTAとか。日頃忙しくて地域のあつまりにでて来れない方もまきこめるのでは。

他地域で行なわれている円卓会議に参加して、体感できると「うちでもやってみよう」という気運が高まるかも・・・と思います。

内部の会議で練習も兼ねて始めてみたら

とりあえず円(まる)に座ってみんなの顔が見えたら、よい意見がでるかも！？

- ・地縁のまきこみ
- ・参加者が片寄る
- ・課題を共有することが大事
- ・参加すると地域が変わることを知ってもらう

円卓会議を運用する民間のしっかりしたコーディネータをみつけることも必要では

開始の単位を小さくする(校区、町内ete・・・)

やっている事例を当事者が実際に行き体感する

効果をすぐ見せる、上げるのはキツイけど、一番効きますね

各地域、なるべく多くの共通の問題をテーマに円卓会議をする。

たて割をなくすために、円卓会議を実施することが大切です

“円卓会議”という仕組みを理解してもらったところから始めないと、参加者がかたよってしまうと思います。

地域円卓会議を広めるには？

- ・参加者をどうする
- ・誰が主催する
- ・テーマはどう設定する
- ・テーマに合ったメンバー構成にする
- ・小さく始めて大きくしていく方法もあるので
- ・成功事例を紹介してメリットを知ってもらう

地域自治組織をまきこんでテーマは身近な課題を話し合う

・まずは始めてみる。→定期的にやるコトで必ずリピーターが生まれる。

「円卓のテーマどうする？」みたいな小さな円卓から始めては？

最初から全地域に広げようとせず、やりやすいところからモデル地区として小さく始めてはどうでしょうか。

誰が主催？中間支援組織に行政が看板を貸すのが良い形では。

円卓会議もおもしろい手法
いろんな手法を使いわけろスキル大事

高齢化率などの客観的なデータで危機感をあおる

広める手段
↓
広報
↓
広報は行政が取り組みやすいと思う

ミニミニ円卓でもいいので「やってよかった！」と発信し、関心を引き出す(まずは実験でOK！)

メリットを広く伝えていきましょう！

“誰が主催する”
→本来なら“自分ごと”として取り組めるとベスト。ただ、現状難しければ、外部から“ファシリ役”を呼んで実施してもよいのでは？

円卓会ギ事前説明会みたいな会を、飲み会などをセットにして開催。

誰かができるところからまず始める！

大きな円卓を目指して、最初は△卓から始めたいと思います。私も。

最初は良かったと思える感想をもってもらえるような人向けのしかけ→口コミで広げる。

青年部等若い人が言い出しっぺになると、大人、先輩方も手伝ってくれるはず。

横ぐしを推進する
“CN”の人事育成

- ・企業との協働(特に地域に根ざした)
- ・元気な高齢者を増やす 健康＋生きがい

what's“CN”?

事例を研究しよう

元気な高齢者を
増やすことはとて
も重要(NPOに参
加はその次でも)

いくつかの所属
を兼務させる

“エンタク”型で行
こう!

地域の中に職員が
入っていけるような
場づくり。
*上司や地縁組織
のトップが若い職員
を地域にまきこ
む!

自分の得意分野で活
やくを!
運動、榮よう、快眠、
快便、すいみんなど。
得意分野をいかすこ
とで、社会参加(生き
がい)につながる

地域にまず
どうやって関わるか？

- ・まず家の周りの清掃から
→輝いてる顔に関心をもつ人が集まる
- ・“こういう事で、地域に役立ってます！”を登録(PR)する(制度)
- ・いろいろな人が一緒に企画から関われるしかけづくり

一人ひとりが外へ出る事。その周知をする。声かけ。

地域のお祭りに参加する。

まずは近所の人と顔見知り挨拶から...

地域のイベントやセミナーなどに参加してみる

全員はムリだとしても、あと何人・何%動かす、巻き込むかをしっかり絞り込んで

行事やイベントに参加
趣味も含めて

地いきの人が集まる場へ参加する

無理のない地域行事参加
↓
興味のある事柄から参加

飲み会などをセットにした情報交換会の開催

どんどん地域に足を運ぶこと。顔と名前が一致するくらいに。

現場に足を運ぶことです

持続できるしくみをつくっておく必要があると思います。

寄りあい、飲み会等あつまりに参加。けどどつかずはなれず

どうやって人を巻き込むか？

- ・全員に声をかけるのではなく、前向き、明るい人、約束を守る人に1本釣りする。
- ・相手が困っていること、ニーズを知って解決のお手伝い。
- ・本当の問題に直接ふれるのではなく、間口を広げて人を集めて、いい人に声掛け。

本当の問題に直接ふれるのではなく・・・が優しいと思いました

日頃からの人間関係を構築すること。すぐにはできない時間のかかることです・・・。

課題、地域さ、良く知った人で信頼できる人をまず引き込む↓その人から広げていく

・大きな課題でなく、小さな課題に目を向けてもらい「これならできるかも」と思ってもらうことが必要かと思います。

地域課題のニーズ調査から始めては

せつしょくし、信頼関係をつくったあと、相談し協力してもらう。

まず集まりやすいテーマ設定と場づくりを。女性でも参加しやすい場を。

仲間は作るのに苦労します。が、あきらめずに頑張らしましょう

きっと参加したいとは思っていますが、現実的に大変な世代がいます。まずはそこにサポートを考えるのはどうでしょうか

人は自分に一番感心をもっているものです。自分が生かされる場に感心もちますので、そのところに視点を置いてみればどうでしょうか

相手に共通点を見出すこと。広く浅くではなく、一本釣りが効果有り。

まず人の話を聞く事から始めよう

どうやって地域の人が集まって
意見交換できる場を作るか？

- ・人間の本能を満足させる+αをつける
ex) 食べる、あつたまる。
- ・「この日に、これやってます」を定期的に続ける。
- ・スタッフも重要(一方的に話し続ける人とかは
ちょっとね・・・)
- ・その地域ごとに集まりやすい場がある。
- ・行政職員をうまく使う。連名とかでもOK。

行政はお金がかかる
ことにはすぐに協力が
できないが、(予算化に
は時間がかかる)それ
以外(後援とか)なら協
力しやすいと思う

行政職員はどう
やったらうまく
使ってもらえるの
でしょう・・・

集しやすい雰囲気
を作る(コー
ヒーや軽食など)

中心人物、中心
団体を見定めて
核となってもら

千里の道も一歩
から

働いている人向
けに、ITのパー
チャルな場もつ
かってはどうで
しょうか

・変に力を入れない
・気軽に参加して
もらう
・発言など求めない
・ただ来てくれるだけ
で良い

地域の課題を、
みんなが共有し
ていなければ難
しいのではない
でしょうか。

行政をうまくつ
かってほしい

わざわざ作るのも一つ
ですが、サロンの場に
集まりしゃべっている
ことをきちんと整理すれ
ば課題も見得るし、内
容も深まる方法もある。

参加できるように、
企業円への地域参
加休日の設定。家
庭内への育児、介
護サポートなどを考
えると良いのではと
思います。

日頃の集会の中で
ザックバランに話し
合える場(飲み会、
花見?など)で、ま
ずは問題を取り上
げる、コーディネー
ト役を作る。

協働担当課の職
員に、交流の場
へ足を運んで、
地域の人と仲良
くなってもら

地域の権力者
(会長、キーマン)
に集めてもらう。